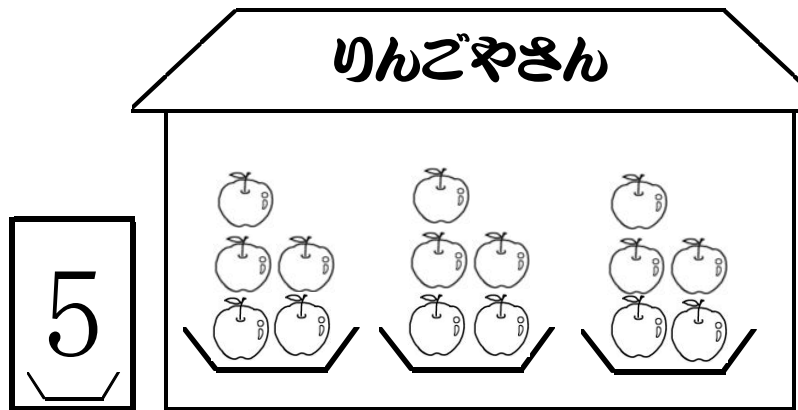


お店やさんの りんごは、ぜんぶで
なんこ ありますか。
しきに かいて、答えを もとめま



<し き>

かんばん () さら

(2)九九の構成

① 具体物と数式

5の段 3時間

目標 (3時間)

- ・かけざんの意味を復習しつつ、5の段の構成をまとめる。
- ・5の段の唱え方を理解する。

九九の構成の導入であるので、3時間かけて、じっくり指導することにした。

1. 課題 プリントの通り

2. 各自考える

前時の数式の指導で学習した通り
かんばん×さらのかず=ぜんぶ

3. 発表する

4. まとめ

・ぜんぶの量は、(かんばん×さらのかず)で求められることを前時に引き続き再度確認する。

- ・5の段の構成表(資料10)の 5×4 を完成させる。
- ・ $5 \times 4 = 20$ の九九としての唱え方を知らせる。

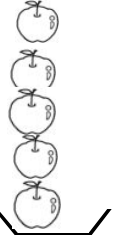
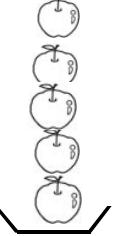
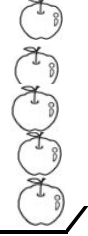
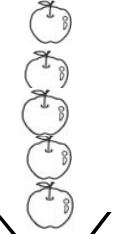
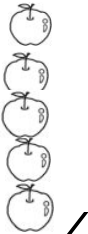
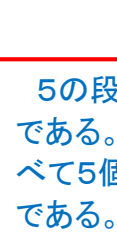
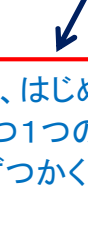
「式の読み方」(ご かける よん は 20)
「九九としての唱え方」(ごし20)
のちがいを教える。難しいかもしれないので、あまり深入りしない。

※ 時間があれば、 5×3 にも挑戦

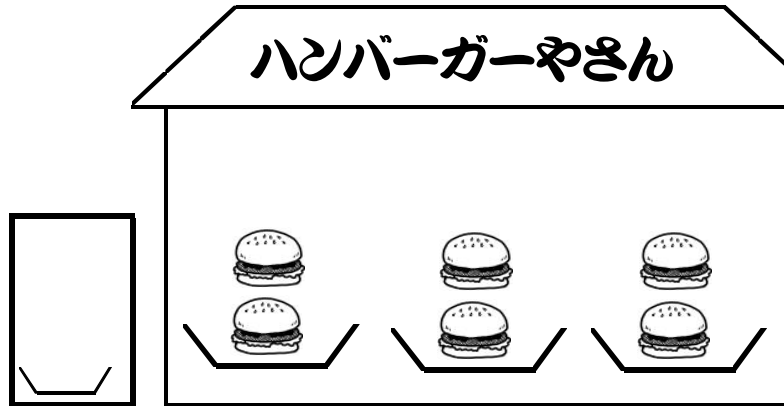
5の段の指導の 2時間目 3時間目

5の段の構成表の完成と唱え方の練習

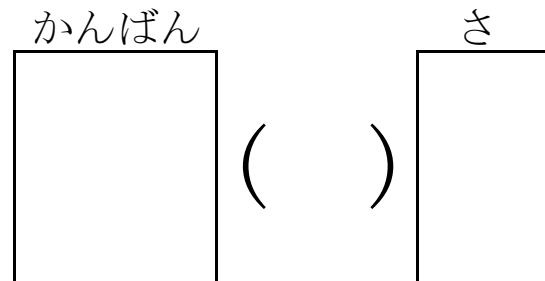
5×4 5×3 5×2 5×1 の順に表を完成させ、
 5×1 だけ唱え方が異なることを指導する。
(「が」の指導)

ばか ん	お 店 の 中 の さ ら の 数								と な え か た し き	
5					<div data-bbox="782 288 1290 631" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>「が」の指導</p> <p>九九の答えが9より小さい時、「が」をつけます。 答えが10より大きければ「が」をつけません。</p> </div>				<p>ごいち が 5</p>	
5									<p>5 × =</p>	
5									<p>5 × =</p>	
5									<p>「ごし 20」</p>	
5									<p>5 × 4 = 20</p>	
5	<div data-bbox="193 1358 705 2359" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>5の段は、はじめての九九の指導である。1つ1つの皿にリンゴをすべて5個ずつかくのは大変な作業である。 しかし、かけざんの量感を大切にするために、ここでは1つ1つ丁寧にかかせきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんごの簡単な略絵 ・りんごを○のみであらわす <p>など作業の効率化のための個々の児童の工夫は認めたい。</p> <p>他の九九の段では、この作業の軽減化を図っている。そして、この作業の軽減化は私の「九九の指導」の大きな特徴の一つである。</p> </div> <div data-bbox="763 1303 1275 2387" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><提案></p> <p>「唱え方」の欄である。 正しくは、「ごし にじゅう」であるが、<u>作業の軽減化と見た目にも分かりやすくするため</u>に、「ごし 20」と表現した。 「20」を「にじゅう」と読むのは、1年生の1学期の既習内容である。従って「にじゅう」という読み方はどの子にも完全に理解されていることである。 このような場合は、子供たちとよく話し合った上で、或いは子供たちによく説明した上で、<u>簡略的にこのように表現するのも許されると考えている。</u></p> </div>								<p>5 × =</p>	
5									<p>5 × =</p>	
5									<p>5 × =</p>	
5									<p>5 × =</p>	
5									<p>5 × =</p>	

お店やさんの ハンバーガーは、ぜんぶで なんこ ありますか。
しきに かいて、答えを もとめま



<し き>



(2)九九の構成

① 具体物と数式

2の段 2時間

本時の目標

- ・ $2 \times (1 \sim 5)$ までの指導
- ・「が」の指導

1. 課題 プリントの通り

2. 各自考える

かんばん \times さらのかず = ぜんぶ

3. 発表する

4. まとめ

・ぜんぶの量は、(かんばん \times さらのかず)で求められることを前時に引き続き再度確認する。

・ 2×3 の表(資料12)を完成させる。

・ 2×1 2×2 2×4 2×5 を表に書きこむ

・「が」の使い方の確認

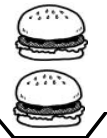
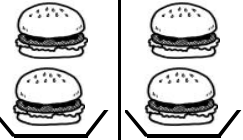
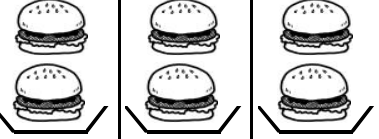
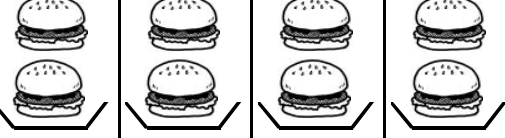
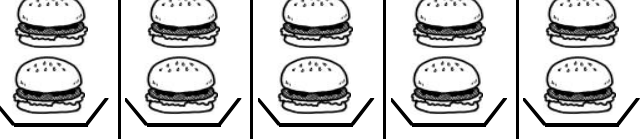
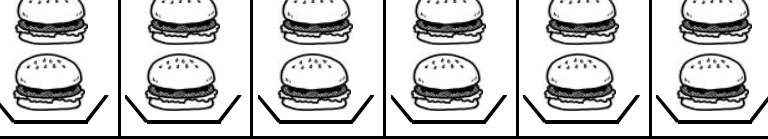
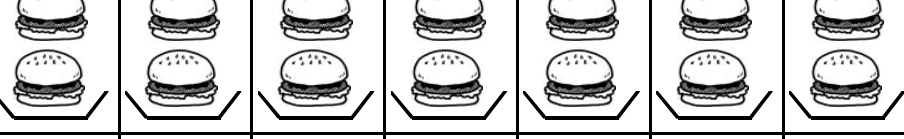
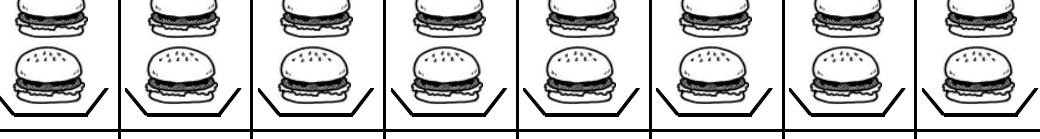
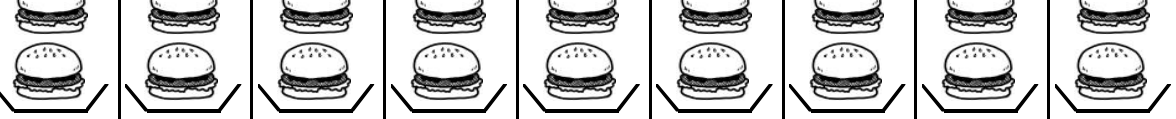
5. 唱え方練習

・ $2 \times (1 \sim 5)$

2の段の指導の 2時間目

・ $2 \times (6 \sim 9)$

2 の だ ん なまえ

ばか んん	お 店 の 中 の さ ら の 数									となえかた
										し き
	<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; color: red; text-align: center;"> 2の段は、唱え方の「が」の指導に最も適した九九の段 であるので、用法をしっかり定着させたい。 </div>									が
										$\times 1 =$
										が
	$\times 2 =$									
										が
	$\times 3 =$									
										が
	$\times 4 =$									
										
	$\times 5 =$									
										
	$\times =$									
										
	$\times =$									
										
	$\times =$									
										
	$\times =$									

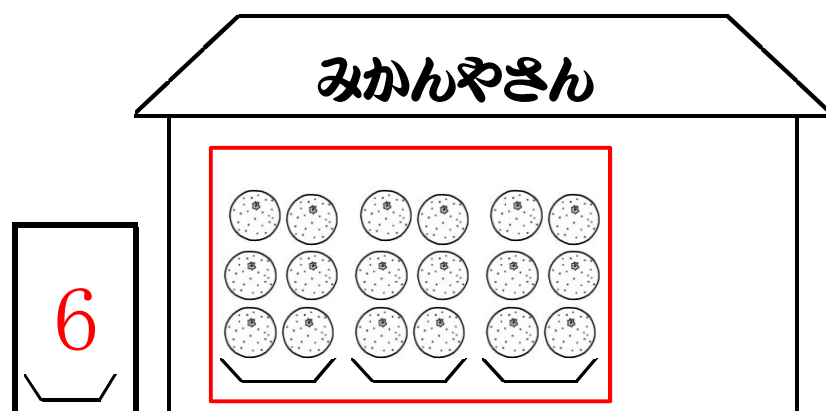
- ① みかんが、1さらに 6こ はいています。
 ② おなじずつ はいった さらが 3さら あります。
 ③ みかんは、ぜんぶで なんこ ありますか。

(2)九九の構成

① 具体物と数式

6の段 2時間

上の もんだいを 読んで、下のお店やさんの 絵のなかに かんばん さらの数 みかんの数 を書き入れましょう。



〈し き〉

かんばん さ ら ぜんぶ

$$\boxed{6} \quad (\times) \quad \boxed{3} \quad (=) \quad \boxed{18}$$

ここまで5の段と2の段の学習を済ませてきた。
 子供達も均等分布した具体物の配列から、かけざんの式を立てることは身につけてきたと思われる。

そこで、6の段では、新たな課題として文章題を導入することにした。

文章題を読む



お店屋さんに、かんばん・さら・具体物の絵を書きこみ
 問題場面をイメージ化する



立式し、答えを求める

というかけざんの問題解決の手順を少しずつ身につけさせていきたいと考え、本時はその第一歩とした。

文章題では、文に番号を付けている。これは、

一文一文丁寧に読んでほしい

という願いと共に、次のようなことをねらっている。

- ①の文(1あたり量を提示している文)
 ②の文(いくつ分を提示している文)
 ③の文(たずねている文)

今後、様々な文章題が現れるが、それを次のように分析的にとらえさせることをねらっている。

- ②の文 あめ玉を7個買いました。
 ①の文 1つ5円でした。
 ③の文 ぜんぶでいくらでしょう。
- ①②の文 1つ5円のあめ玉を7個買いました。
 ③の文 ぜんぶでいくらでしょう。
- ①の文 1つ5円のあめ玉を買いました。
 ②③の文 7個買うと、ぜんぶでいくらでしょう。

詳しくは、文章題の指導をご覧いただきたい。

但し、この段階では一文一文丁寧に読ませることを大切にして指導してほしい。

